

まきどき・植えどき・収穫どき
どきどき情報6月

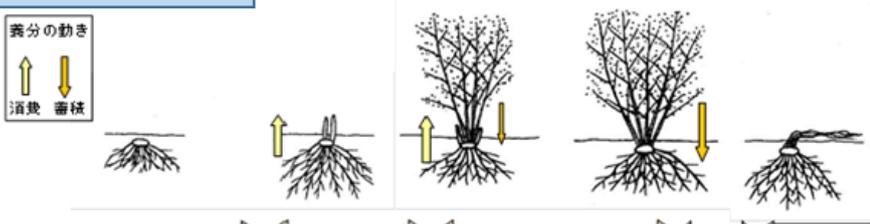
NO.177

2018年

6月1日発行

6~7月上旬の農作業

梅雨に入り、病気が発生しやすい季節になります。栽培管理に気をつけましょう！

種まき・定植	栽培のポイント																																				
<p>○葉菜類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホウレンソウ ・コマツナ ・チンゲンサイ ・葉ネギ <p>○根菜類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニンジン ・ダイコン ・カブ ・サツマイモ <p>など</p>	<p>【梅雨期の管理】</p> <p>Q 病気はどこから入るのでしょうか？</p> <p>A 葉にできた傷や葉裏の気孔から泥はねや雨滴を通して侵入します。このため、株元への敷きワラやマルチは発生防止につながります。また、畝間を歩くときなどは、なるべく、作物を傷めないように気を付けることが大切です。</p> <p>Q 梅雨期には、どのような病気が発生しやすいのでしょうか？</p> <p>A</p> <table border="1" data-bbox="454 945 1444 1137"> <thead> <tr> <th colspan="2">果菜類</th> <th colspan="2">茎葉菜類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キュウリ</td> <td>べと病、炭そ病</td> <td>レタス</td> <td>べと病、軟腐病</td> </tr> <tr> <td>トマト・ピーマン</td> <td>疫病、灰色かび病</td> <td>ハクサイ・キャベツ</td> <td>黒斑細菌病、軟腐病</td> </tr> <tr> <td>ナス</td> <td>青枯病、うどんこ病</td> <td>ネギ</td> <td>べと病、軟腐病</td> </tr> </tbody> </table> <p>農薬はラベルの表示を確認して正しく使用しましょう！</p> <p>【アスパラガスの立茎管理】</p> <p>春どりのシーズンが終わり、これからの立茎管理が今後の収量に大きく影響します。一株当たりの立茎数（養成茎数）をきちんと守り、十分な収量の確保につなげましょう。</p> <div data-bbox="427 1415 1428 1630" style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>一株当たりの立茎数（養成茎数）と太さの目安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春どりのみの場合：株あたり7~8本（畝1mあたり23~25本） ・長期どりの場合：株あたり4~5本（畝1mあたり12~15本） <p>立茎の太さ 10~14 mm（やや細めのL級程度）</p> </div>	果菜類		茎葉菜類		キュウリ	べと病、炭そ病	レタス	べと病、軟腐病	トマト・ピーマン	疫病、灰色かび病	ハクサイ・キャベツ	黒斑細菌病、軟腐病	ナス	青枯病、うどんこ病	ネギ	べと病、軟腐病																				
果菜類		茎葉菜類																																			
キュウリ	べと病、炭そ病	レタス	べと病、軟腐病																																		
トマト・ピーマン	疫病、灰色かび病	ハクサイ・キャベツ	黒斑細菌病、軟腐病																																		
ナス	青枯病、うどんこ病	ネギ	べと病、軟腐病																																		
<p>収 穫</p>																																					
<ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ ・ニンニク ・キュウリ ・トマト ・ピーマン ・ニラ ・ウメ <p>など</p>	<div data-bbox="414 1646 1428 2105" style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <p>アスパラガスの一年</p>  <table border="1" data-bbox="534 1937 1364 2094"> <thead> <tr> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">休眠期</td> <td colspan="2">萌芽期</td> <td colspan="3">茎養成期</td> <td colspan="2">養分転流期</td> <td colspan="2">休眠期</td> </tr> <tr> <td colspan="3">春どり栽培 休眠期</td> <td colspan="2">春どり栽培 春どり期</td> <td colspan="3">長期どり栽培 立茎収穫(夏秋どり)期</td> <td colspan="2">長期どり栽培 茎養成期</td> <td colspan="2">長期どり栽培 養分転流期</td> </tr> </tbody> </table> </div>	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	休眠期			萌芽期		茎養成期			養分転流期		休眠期		春どり栽培 休眠期			春どり栽培 春どり期		長期どり栽培 立茎収穫(夏秋どり)期			長期どり栽培 茎養成期		長期どり栽培 養分転流期	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																										
休眠期			萌芽期		茎養成期			養分転流期		休眠期																											
春どり栽培 休眠期			春どり栽培 春どり期		長期どり栽培 立茎収穫(夏秋どり)期			長期どり栽培 茎養成期		長期どり栽培 養分転流期																											

雑草対策について

農作業の半分は、「草対策」であるといっても過言ではないかと思えます。そこで、今回は様々な雑草対策についてお伝えします。

困ったなあ。どうしたら減るんだろう？



■ 雑草を放っておくと・・・

雑草が繁茂すると、①害虫のすみかになる、②風通しが悪くなり病害虫発生の原因になる、③作物の生育を妨げるなどの悪影響が発生します。

■ なぜ、雑草は取っても取っても減らないのでしょうか？

雑草の種類の多くは、とても強い生命力を持っています。タネの寿命は長いものでは10年もあると言われていています。タネは土の中でじっとしており、掘り起こされて地表近くに出ると光を浴びて発芽するという性質を持っているからです。

■ 除草剤について

1 安全に使いましょう

作物に薬害を与えないよう雑草を枯らすためには、雑草の種類や生育ステージなどに注意して、除草剤の選定、使用方法を確認することが大切です。

除草剤は農薬ですので、適用作物や登録内容を十分に確認し使用上の注意を厳守してください。作物ごとの使用薬剤については、農業改良普及センターにお問い合わせください。

2 除草剤の種類

処理のタイプ	茎葉処理	既に生えている雑草に散布し、茎葉から薬剤を吸収させる。残効性が短いですが、次の作物の作付けまでを比較的早くできる。
	土壌処理	雑草発生前から発芽直後の畑に散布。土壌表面に薬剤処理層を作り発芽を抑制。残効性が長いが持続期間は薬剤により異なる。
効果の範囲	接触型	薬剤がかかった部分のみ枯れる。 [Mリット]効果の発現が早い [E Mリット]薬剤の散布ムラがあるとかからない部分は枯れない
	移行型	薬剤がかかった茎葉や根から成分が吸収され雑草全体が枯れる。 [Mリット]多少のかけむらがあっても根まで枯れる [E Mリット]効果の発現が遅い

● 主な除草剤の特徴

商品名		ラウンドアップ	バスタ液剤	トレフアノサイド乳・粒剤	ゴーゴーサン乳剤
適用雑草	1年生雑草	○	○	○	○
	多年生雑草	○	○～△	△	△
処理方法		茎葉処理剤	茎葉処理剤	土壌処理剤	土壌処理剤
効果の範囲		移行型	接触型	移行型	移行型

あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

技術事項作成協力

上田農業改良普及センター（木曾・中谷）

電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161